

# 白い森の約束

ともに描く未来

基本計画～前期～では、人口ビジョンで描いた将来人口の実現に向けて、指針ごとにKGI(重要目標達成指標)を設定しています。

<b>指針 ①</b> 白い森の国を担う 「人づくり」の推進	<b>数値目標1</b> (KGI:重要目標達成指標) <b>出生数</b> (暦年での合計出生数)	現状値 <b>21人</b> 令和6(2024)年	目標値 <b>21人</b> 令和12(2030)年
<b>指針 ②</b> 白い森の魅力を磨く 「環境づくり」の推進	<b>数値目標2</b> (KGI:重要目標達成指標) <b>生産年齢人口割合</b>	現状値 <b>49.7%</b> 令和6(2024)年	目標値 <b>50.0%</b> 令和12(2030)年
<b>指針 ③</b> 白い森を舞台とした 「暮らしづくり」の推進	<b>数値目標3</b> (KGI:重要目標達成指標) <b>移住者数</b> (県内からの移住者含む)	現状値 <b>51人</b> 令和6(2024)年	目標値 <b>50人</b> 令和12(2030)年

町では、「町に住む人」を土台にしつつ、小国町や町民に対して想い(関心・共感)を寄せ、町民や行政と協働してまちづくりに関わる人々を「協働人口」として広くとらえ、ともにまちづくりを進めてきました。

「町に住む人」は、町を持続的に維持していくための「根っこ」であり、結婚や子育て、教育といった環境を整備し、強い「根っこ」を作っていきます。

「協働人口」は“枝葉の広がり”にとらえ、根っこをしっかり守りつつ、様々な取り組みにより協働人口の創出拡大、移住定住の促進を図り、枝葉を広げていきます。

そして、「町に住む人」と「協働人口」がともに実現したい未来像を共有し、持続可能でより幸せを感じられる“白い森の国おくに”を創ることを目指します。

## 人口減少を抑制するためのまちづくりの“木”



小国町役場総務企画課

令和8年5月(2026.5)発行

〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町2-70

TEL : 0238-62-2264 FAX : 0238-62-5464

<https://www.town.oguni.yamagata.jp/>

第6次総合計画の詳細はこちらから



# 第6次 小国町総合計画

-Comprehensive Development Plan-

令和8(2026)年 3月策定  
令和8(2026)年▶令和17(2035)年

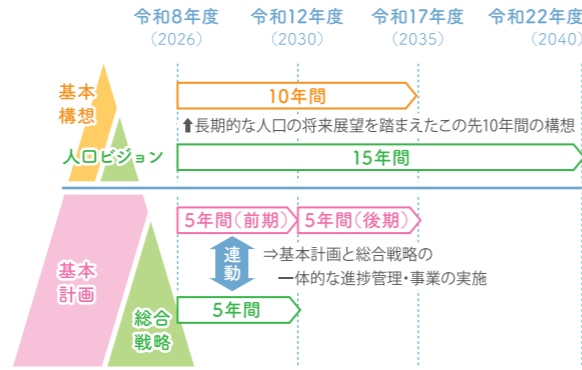
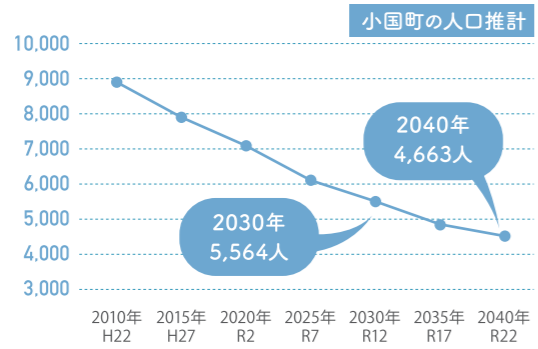
## 概要版

みんなで未来を描こう 白いキャンバスに  
みんなで暮らそう 彩りゆたかな白い森で

# 白い森の未来を 見つめて

総合計画は、町政運営の最上位に位置づけられる行政計画であり、町の将来像と政策の方向性を体系的に示すものです。

町では、様々な世代へのアンケートやヒアリングによって町民の皆さんの声を聴きながら、この先10年間の「まちの未来をデザインする



設計図」として、基本構想・基本計画・実施計画からなる、第6次総合計画を策定しました。

計画に基づいた取り組みを進めることで、人口減少の緩和を図り、短期目標である2030年に5,500人程度の人口を維持することを目指します。

# 未来への道しるべ

## 基本計画～前期～の具体的な取組み

基本理念をふまえ、3つの指針と2つの視点に基づき、戦略的に取り組みを進めます。

- 視点① 白い森の暮らしを守る <人・暮らし・環境の再構築>
- 視点② 白い森の未来を拓く <内外とのつながりで町を豊かに>

## 指針① 白い森の国を担う「人づくり」の推進

### 次代を担う子どもたちの育成支援

- ・出産・子育て支援の充実
- ・子どもの遊び場の整備
- ・出会いや結婚への支援

### 地域の未来を創る人材の育成と世代を超えた学びの場づくり

- ・教育環境の充実
- ・保小中高一貫教育の推進
- ・小国高校の魅力化
- ・生涯学習・スポーツの振興

### 若者や女性など多様な人材が活躍できる場づくり

- ・男女共同参画の推進
- ・若者・女性等のビジネス創出
- ・起業・事業承継の支援

### 伝統文化を継承し地域資源を活用する人材の育成

- ・ぶな文化・マタギ文化の継承
- ・郷土学習や体験活動の推進
- ・地域資源の産業化
- ・地域文化資源のデジタル化



## 指針② 白い森の魅力を磨く「環境づくり」の推進

### 災害に強い安全安心な生活環境づくり

- ・危機管理体制の充実
- ・避難所機能の向上
- ・災害情報発信体制の整備
- ・鳥獣被害対策の強化

### 暮らしを支える社会基盤の保全と産業の振興

- ・道路・上下水道・住宅など生活基盤の維持と更新
- ・地域公共交通の再編
- ・農林業・地域産業の振興
- ・地域内経済循環の促進
- ・買物等の商業環境の確保

### 多様な主体と共創するための新たなスキームづくり

- ・官民連携・産学連携
- ・企業や大学等との共創ネットワークの構築
- ・PPP・PFI等の活用

### GX・DXの推進による暮らしの利便性向上

- ・自然と共生するウェルビーイングな暮らしの創造
- ・新技術の活用と生活満足度の向上
- ・地域全体のデジタル化の推進
- ・行政サービスの利便性向上
- ・学校教育におけるICT環境整備
- ・再生可能エネルギーの導入推進



## 指針③ 白い森を舞台とした「暮らしづくり」の推進

### 保健、医療、福祉の充実と包括ケア推進体制の確保

- ・医療等の連携体制の強化
- ・町立病院の効率的な運営
- ・持続的な医師の確保
- ・在宅生活支援と福祉の推進
- ・健康づくりと疾病予防の推進

### 多様な地域活動を支える仕組みの構築と新たな地域社会のデザイン

- ・地域活動や集落運営の支援
- ・多様な主体との協働によるまちづくり
- ・地域課題に関する調査研究

### 白い森のブランディングと新たな価値の創出

- ・総合的なブランド戦略の推進
- ・SNS等の多層的な情報発信
- ・観光スポットの魅力向上
- ・地域ならではのツアー造成
- ・ふるさと納税の拡充

### 心のふるさととして選ばれるまちづくり

- ・移住・定住・マルチワークの推進
- ・空家の利活用
- ・ふるさと住民登録制度の活用によるファンコミュニティの構築
- ・協働人口との連携強化



# 変化の時代に立ち向かう

## 小国町の現状と課題

計画の策定にあたり、町の課題を整理しました。

### 課題① 人口減少と地域の持続性

- 少子高齢化と若年層の流出が進行し、出生数は大きく減少
- 高齢化率も上昇し、地域の担い手不足や自治機能の低下が懸念

### 課題② 暮らしを支える基盤の揺らぎ

- 人口減少や需要の変化により、交通・商業・医療・住宅など生活基盤の維持が困難に
- スーパーの休業やJR米坂線の不通など、日常生活への影響も顕在化

### 課題③ GX・DXによる社会変革への対応

- 世界的に脱炭素化やデジタル化が進んでいる
- 森林資源の活用やデジタル基盤整備は地域の競争力を高める鍵
- GX・DXの推進による環境負荷の軽減と利便性向上を両立する取組が必要

### 課題④ 気候変動と自然災害への柔軟な対応力

- 豪雨や豪雪など災害が激甚化
- 防災体制の強化や避難環境の改善が急務
- 環境保全と防災を両立したしなやかで強いまちづくりが必要

### 課題⑤ 地域経済・産業構造の変化

- 人材不足や市場環境の変化に直面
- 高付加価値化と持続可能な経済基盤の構築が必要

# 白い森の未来を描く

## 白い森まるごとブランド構想

町を取り巻く環境は急速かつ複雑に変化していますが、「白い森の国おぐに」には先人たちが育み受け継いできたかけがえない宝があります。

自然とともに生きるための知恵や技、豊かな自然の恵み、人と人とのつながり、産業や暮らし、地域ぐるみの教育など、あらゆる地域資源を価値として発信し選ばれる地域を築く「白い森まるごとブランド構想」を基本理念とし、町民と行政が一体となって、心豊かでしなやかなまちづくりを進めていきます。

